

衣類回収にご協力ください

問まちづくり支援課 ☎0176-51-6726

市では、不要となった衣類を回収しています。回収した衣類は海外で再利用されており、可燃ごみの減量だけでなく、循環型社会の形成に役立っています。令和5年度は約20 tの衣類が回収されました。

お近くにお立ち寄りの際など、どうぞ回収にご協力ください。

分類	○ 回収しているもの	× 回収しないもの
衣類	▶ シャツ、ブラウス類 ▶ ズボン、ジーパン ▶ スーツ、ジャケット、礼服 ▶ トレーナー、セーター ▶ コート、ダウンジャケット	▶ 靴下、ストッキング ▶ 作業服 ▶ スキーウエア ▶ 制服 ▶ 皮革衣料品
服飾雑貨	▶ 手袋、帽子 ▶ マフラー ▶ かばん、バッグ類 ▶ ハンカチ、ネクタイ、スカーフ	▶ アクセサリー ▶ 靴、スリッパ ▶ ヘルメット、ランドセル
布類	▶ タオル ▶ シーツ	▶ 布団、毛布、枕 ▶ じゅうたん、カーペット ▶ 座布団、クッション、ぬいぐるみ

※品目は一部抜粋しています。

衣類回収箱の設置状況

市役所本館西側入口	平日
市役所別館入口	午前 8 時30分～午後5時15分
南コミュニティセンター	午前 9 時～午後 9 時 (年末年始を除く)
東コミュニティセンター	
西コミュニティセンター	
市民交流プラザ「トワーレ」	



すべてのひとが輝くまちの実現をめざして

問総務課 ☎0176-51-6702

男女共同参画 地域密着型防災訓練～新川原町内会～

9月1日、新川原町内会（和田好暁会長）で、震度6の地震による家屋の倒壊、火災、幹線道路の不通などの被害を想定した地域密着型防災訓練が行われました。



防災無線が流れると、住民が徒歩で避難場所に集まりました。

町内会活動が盛んな新川原町内会では、顔見知りも多く、安否確認も確実に行うことができます。



地元の中学生が初めてのダンボールベッドの組み立てに挑戦しました。



和田会長
町内会は『共助』
関係の構築の場

一人暮らしの高齢者は、被災時に避難が困難になる場合があります、「隣近所の助け合い（共助）」が必要になります。

当町内会では日頃からさまざまな行事を行っており、そういう場で何気ない会話を交わすことが、いざという時お互いに助け合う関係の構築につながります。



水入り消火器での消火訓練



炊き出し訓練のカレーライスの試食

みんなで顔を合わせるのいいよね

市ではSDGsの「誰一人取り残さない」という原則にのっとり、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりを目指しています。

地域密着型防災訓練（新川原町内会）の様子は市ブログ「駒の里から」に掲載しています。

市ブログは
こちらから▶

